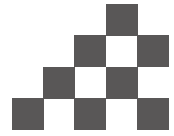


令和元年度会務・会計報告



日本弁理士クラブ 幹事長報告

令和元年度日本弁理士クラブ幹事長

福 田 伸 一

1. はじめに

令和元年度は、日本弁理士クラブ（以下「日弁」）が推薦した清水善廣会長の初年度であり、日弁幹事会としては本会が円滑な会務運営を行うことができるようバックアップに努めてまいりました。また、本会の会務運営に際しましては、西日本弁理士クラブの皆様及び弁理士連合クラブの皆様にも多大なるご協力をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。

<日本弁理士クラブ基本方針>

- (1) 日本弁理士会の会務運営（人事・政策）を支える。
- (2) 一体となって本年度の弁理士会役員選挙に臨む。
- (3) 知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善について積極的に提言する。
- (4) 日弁構成会派の連携強化を図る。
- (5) 魅力ある組織をめざして活動する。

2. 日本弁理士会の会務運営サポート

例年通り、日本弁理士会の運営を人材及び政策の面から支える活動を行いました。

人事面では次年度人事検討委員会において、日弁所属の各会派から有能な人材を委員会等に推薦し、弁理士会の委員会活動を担っていただきました。また、関東支部（関東会）の人事についても同様に有能な人材を推薦しました。さらに、清水会長の目玉政策である「絆プロジェクト」についても多数の人材を日弁会派から送り出し、有益な活動を行って

いただきました。

政策面でも政策委員会を中心に各種事項を検討していただくと共に、弁理士会正副会長との意見交換を頻繁に行い、喫緊の課題についてスピード感をもって対応してまいりました。

3. 日本弁理士会役員選挙

令和元年度は会長選挙の無い年でありましたが、協議委員会（選挙対策委員会）においては副会長、常議員、監事において日弁からの立候補者全員が当選するよう綿密な計画を立て、遂行していただきました。また、選挙に際しては西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブと意見交換を行い、後に禍根を残すことが無い選挙にすることができました。

4. 委員会活動

日弁内の委員会では、以下の事項を主として一年間の活動を行いました。

- (1) 政策委員会
 - ①日本弁理士会役員選挙における活動指針の新設（規約委員会と共同）
 - ②日本弁理士クラブの各種規約の精査及び改訂（規約委員会と共同）
 - ③日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応
 - ④日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）
 - ⑤知的財産制度、弁理士制度、弁理士の業務環境改善（弁理士法に規定されていない業務への進出を含む）についての検討
- (2) 協議委員会
 - ①2020年度日本弁理士会役員定時選挙への対応
 - (3) 規約委員会
 - ①日本弁理士会役員選挙における活動指針の新設（政策委員会と共同）
 - ②日本弁理士クラブの各種規約の精査及び改訂（政

策委員会と共同)

(4) 研修委員会

- ①日本弁理士会認定外部機関としての研修の企画・立案・実行
- ②前項以外の研修の企画・立案・実行
- ③特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会の実施の可否の検討

(5) 会報委員会

- ①会報の企画・制作・発行
 - ②広報委員会との連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）
- (6) 広報委員会
- ①日弁ホームページの管理・更新
 - ②会報委員会との連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）

5. 行事

令和元年度の日弁行事は以下の通りです。

テニス大会	平成31年 2月 2日
旅行会	令和 1年 6月15日～16日(伊東)
ゴルフ大会	令和 1年 6月16日 (伊東)
研修会	令和 1年 9月13日 (特定侵害訴訟代理業務試験対策)
5派リレーマラソン大会	令和 1年11月17日
役員選挙当選祝賀会	令和 1年11月28日
ボーリング大会	令和 1年12月 5日

6. 最後に

令和元年度の日弁の活動を担って頂いた幹事会メンバー及び政策委員長を以下に紹介いたします。この幹事会メンバー、日弁各委員会で活動していただいた日弁会員の皆様に支えられ、令和元年度の幹事長としての重責を果たすことができました。まことにありがとうございました。

政策委員長

(無名) 羽鳥 亘 先生

副幹事長

- (P A) 中尾 直樹 先生 [庶務・総会・相談役会・協議]
- (春秋) 太田 昌孝 先生 [研修・慶弔・ボウリング・ゴルフ]
- (南甲) 林 剛史 先生 [会計・テニス]
- (無名) 米山 尚志 先生 [政策・規約・旅行]
- (稲門) 綾木 健一郎先生 [広報・会報・マラソン]

幹事

- (P A) 梶並 順 先生 眞野 修二 先生
- (春秋) 徳本 浩一 先生 西澤 由美恵先生
- (南甲) 藤沢 昭太郎先生 林 裕己 先生
- (無名) 竹本 如洋 先生 湯浅 竜 先生
- (稲門) 福森 智哉 先生 徳田 雄飛 先生

会計幹事

- (春秋) 大沼 加寿子先生
- (南甲) 佐藤 雄哉 先生



令和元年度 日本弁理士クラブ 政策委員会 活動報告

政策委員長 羽 鳥 亘

1. 委員会の構成

副幹事長	米山 尚志（無名）
副委員長	三上 敬史（春秋）
	堀籠 佳典（P A）
	中村 仁（南甲）
	前田 健一（無名）
	高橋 英樹（稲門）
委員	栗原 弘（春秋）
	金森 靖宏（春秋）
	林 篤史（P A）
	坂本 智弘（P A・4月～）
	石橋 良規（南甲）
	藤沢昭太郎（南甲）
	矢崎 剛平（無名）
	須藤 大輔（無名）
	植田 晋一（稲門）
	鈴木 俊之（稲門）

2. 諮問と委嘱事項について

（i）諮問① 日本弁理士会役員選挙における活動指針の新設

規約委員会と共同でまとめ、文書は規約委員会が作成。

2 / 26の規約委員会立ち上げ後は政策と合同で委員会を開催。

（ii）諮問②日本弁理士クラブの各種規約の精査及び改訂

例えば「日本弁理士会役員推薦基準」は対象が混在している、また、推薦基準に目的がない等あるので規約委員会と合同で見直しを行う。

（iii）委嘱①日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応

検討依頼が来た場合は各会派で検討してもらい、それを委員会でもとめる。

（iv）委嘱②日本弁理士会執行役員会への政策的サポート

日弁は選挙のための組織ではなく、本会を支えるものであり、政策的サポートを行うものであるため、総会の事業計画を聴き、積極的に議論を行う。

（v）委嘱③知的財産制度、弁理士制度、弁理士の業務環境改善（弁理士法に規定されていない事項への進出を含む）についての検討

例えば、独立社外取締役の属性について弁理士も加えてもらうことは可能か、国会議員の政策秘書になるための試験免除に弁理士が入らないものか、民間自衛官の登録する場合に弁理士なら実地訓練を免除できないか、等。

3. 活動報告

（1）委員会開催

①第1回政策委員会（2月13日）

福田幹事長から、諮問と委嘱事項について説明があった後、委員間で意見交換を行いました。

②第2回政策委員会(政策・規約合同委員会)(3月15日)

福田幹事長がたたき台を作成した日本弁理士会役員選挙に関する活動指針について各会派からの意見聴取を行った後、委員間で意見交換を行いました。

また、日本弁理士クラブ各種規約の精査及び改訂について、委員間で意見交換を行いました。

③第3回政策委員会(政策・規約合同委員会)(4月22日)

前回委員会議論を受けて政策委員長が修正した日本弁理士会役員選挙に関する活動指針について各会派からの意見聴取を行った後、委員間で意見交換を行いました。

また、日本弁理士クラブ各種規約の精査及び改訂について、委員間で意見交換を行いました。

④第4回政策委員会(政策・規約合同委員会)(5月28日)

日本弁理士会出野副会長による令和元年度日本弁理士会第1回定期総会の上程議案についての説明の後、主に事業計画・予算についての意見交換を行い

ました。

前回委員会議論を受けて政策委員長が修正した日本弁理士会役員選挙に関する活動指針について各会派からの意見聴取を行った後、委員間で意見交換を行いました。

また、福田幹事長から、日本弁理士クラブ各種規約の見直しポイントについての説明を受けました。

⑤第5回政策委員会(政策・規約合同委員会)(7月11日)

日本弁理士会役員選挙に関する活動指針及び各会派に振り分けて具体的な内容提示を行って頂いた日本弁理士クラブ各種規約内容に関して、各会派からの意見聴取を行った後、委員間で意見交換を行いました。

4. 日弁幹事会への答申書内容

(i) 諮問① 日本弁理士会役員選挙における活動指針の新設について

日本弁理士会役員選挙における活動指針は、役員選挙という日本弁理士会及び日本弁理士クラブの根幹を成す重要事項に関する活動指針を示すものとなるため、慎重審議の結果日本弁理士クラブを構成する5派全ての賛同が得られないため「日本弁理士会役員選挙における活動指針」の新設は行うべきでない。との結論に至った旨の答申書を平成1年9月12日付で日弁幹事会に提出し承認された。

(ii) 諮問②日本弁理士クラブの各種規約の精査及び改訂

日本弁理士クラブの各種規約につき、精査した結果、議論や運用が明らかになるように下記改定に関する答申書を平成1年10月7日付で日弁幹事会に提出し承認された。

①「会則運用基準」の一部改定

第9条1項を「 総会の開催場所は、幹事会が決定する。この場合において、総会の開催場所として、旅行会、新年会等の会合を利用することを妨げない。」と改定。

総会の開催場所を決定する主体が幹事会であることを明確にすべきであり。また、幹事会の決定事項に、開催場所に旅行会、新年会等の会合を利用する

ことを妨げない点を明確にするため。

②「日本弁理士クラブ慶弔規則」の一部改定

第2条第1項第一号の「褒賞」は「褒章」が正しい字句あるので改定。

日本国憲法第7条第七号の「栄典」に関して、褒章条例には、勲章、褒章が規定されており、「褒賞」の字句では、栄典に該当するか否か不明となってしまうので、正しい字句の「褒章」に改定。併せて、受賞も「受章」と改定。

③「日本弁理士会役員推薦基準」の一部改訂

「2 (副会長候補者推薦基準)」の(3)において、「日本弁理士会の支部」を「日本弁理士会の地域会」と改定。日本弁理士会では、支部を地域会に名称変更しており、本推薦基準もそれに整合するため。

④「幹事長銓衡基準」の一部改定

「1 本基準は、日本弁理士クラブにおける幹事長の銓衡基準を定めたものである。」と第1項を追加し、従前の第1項を第2項以下と改定。第1項に総括的な条項を記載して銓衡基準を定める意義を明確にするため。

⑤「副幹事長推薦基準」の一部改定

「1 本基準は日本弁理士クラブにおける副幹事長の推薦基準を定めたものである。」と第1項を追加し、従前の第1項を第2項以下と改定。「幹事長銓衡基準」と並んで重要な役職である本基準について、第1項に総括的な条項を記載して副幹事長推薦基準を定める意義を明確にするため。

⑥「日本弁理士クラブ特許制度研究会規約」の削除

本特許制御研究会は長年実働がなく、規約自体が不要であると考えられるから削除。

類似する研究会や委員会が必要になった場合は、日本弁理士クラブ会則の「第8条(委員会) 本クラブは総会の決議又は幹事会の決議に基づいて委員会の設置及び改廃を行うことができる。」に基づき、新たに委員会を発足させれば足りるため。

以上

令和元年度 協議（選挙対策）委員会報告

委員長 大西正悟
渡邊敬介

1. 委員会の構成

委員長 大西正悟（PA）：1～3月、9月以降
渡邊敬介（PA）：4～8月

副委員長 中尾直樹（PA）
渡邊伸一（PA）
岩壁冬樹（春秋）
須藤浩（南甲）
久松洋輔（無名）：1～3月
香坂薫（無名）：4月以降

委員 藤坂恭史（稲門）
本多敬子（PA）
帯包浩司（PA）
石川徹（春秋）
古野裕介（春秋）
林裕己（南甲）
松田次郎（南甲）
鈴木一永（無名）
内田雅一（無名）
西村公芳（稲門）
高橋伸也（稲門）

2. 委員会開催状況

（1）協議委員会

第1回 平成31年 2月12日
第2回 4月17日
第3回 令和 1年 5月27日
第4回 6月24日
第5回 8月19日
第6回 9月 6日（拡大）

（2）選挙対策委員会

第1回 令和 1年 9月11日
第2回 9月20日

3. 当選祝賀会

令和 1年11月28日 東海大学校友会館

4. 審議経過及び選挙について

（初めに）

委員会構成で示したように、委員長が途中交代し、渡邊敬介と大西正悟の2名が委員長として参画したため、それぞれの担当部分について分けて報告する。

（渡邊敬介担当分）

大西委員長による第1回協議委員会において、各派の役割分担を決めると同時に、令和2年度役員候補選定のための大まかなスケジュールを決めて、令和2年度役員の選挙に向けた本委員会のスタートを切った。

令和2年度役員の選挙は、会長選挙は予定されていないものの、副会長と常議員については定員を超える立候補者が出る可能性があると考えられていたことから、できるだけ早い段階で候補者を決めて選挙態勢を整えるべく作業を進めた。また、立候補者が定員オーバーとなった場合の対応の仕方についても、色々なバリエーションを想定して逐次協議を行った。

第2回協議委員会から各派の人選状況を聴取すると共に次回までに各派で決めておくべきことを協議し、これを繰り返すことで、第4回協議委員会までに副会長候補の最終確認を完了した。その他の役員候補については、第4回協議委員会で最終確認の直前まで人選を進め、その後はメール連絡も活用して7月一杯で最終確認を終了した。

候補者の人選と並行して、選挙用パンフレットの作成準備も行った。過去の資料を参考にして、選挙用パンフレットを圧着ハガキタイプのものとし、最終確認が済んだ候補者から写真その他の資料を提出してもらい、印刷の準備を進めた。第5回協議委員会では選挙用パンフレットの下刷りを確認し、その発送時期や発送先についても確認した。

ところで、第5回協議委員会終了後、副会長と常議員だけではなく、監事も定員を超える立候補者が出そうだとの情報もたらされた。副会長と常議員

については過去に投票を行ったことがあるが、監事については例がない。多少面食らった感はあったが、着実に準備を進めて来ていたことから、これまで話し合ってきたことをベースに対応することとし、翌月の立候補届の提出を待つことにした。

(大西正悟担当分)

渡邊委員長と交代して第6回協議委員会以降において委員長となり、第1回および第2回選挙対策委員会を含めて担当した。今回は、副会長および常議員については定員オーバーとなって投票による選挙が行われるということが強く予想され、渡邊委員長の元で様々な検討がなされ、対応が講じられてきた。監事候補の追加選任で少し予定外のことがあったようであるが、これも渡邊委員長の担当のときに解決して頂いていた。また、今回は監事候補者が定員オーバーになる可能性がでてきたが、これについても様々な対策を講じて頂いていた。このため、途中から委員長が急にバトンタッチとなったが、協議委員会および選挙対策委員会は比較的スムーズに進め

ることができた。

但し、いざ立候補者が揃って最終的な選挙となった段階で、副会長候補者は定員どおりで投票がなくなりましたが、常議員候補者が定員オーバーとなり投票による選挙となり、さらに、監事候補者についても定員オーバーとなり投票による選挙となった。監事の投票選挙はおそらく初めての経験であり、監事候補となった先生方にとって、このようなことになるとは寝耳に水のことになったのではと想像する。しかしながら、渡邊委員長の下で周到に準備をして頂き、日本弁理士クラブ内の各クラブおよび各候補者がそれぞれ大変努力された結果、日本弁理士クラブ推薦の常議員候補および監事候補ともに全員無事当選という結果となった。

このような結果を受け、日本弁理士クラブ役員当選祝賀会を、11月28日に東海大校友会館（霞が関ビル）で盛大に心置きなく開催することができた。皆様に改めて御礼申し上げます。

令和元年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修委員長 榛 葉 貴 宏

令和元年度研修委員会につきまして、以下の通りご報告いたします。

1. 開催回数

研修委員会 5回

研修会 2回

2. 委員会の構成

委員長	榛葉 貴宏 (春秋)
担当副幹事長	太田 昌孝 (春秋)
委員	三田 康成 (春秋)
	田中 秀幸 (P A)
	亀山 育也 (P A)
	寺尾 康典 (稲門)
	林 司 (無名)
	堀 宏光 (無名)
	千且 和也 (南甲)
	廣戸 健太郎 (春秋)
	丸山 陽 (南甲)
	中村 聡 (稲門)

3. 研修内容

(1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

年々受験者数が減少しており、まず、今年度開催するか否かを検討しました。検討の結果、今年度の結果により次年度以降について本研修を継続するかを判断することとしました。いざ蓋を開けてみると、今年度は、参加者が大幅に増えたため、来年度も継続することとしました。

〈過去問解析講座〉

日程：9月13日 (金)18：30～20：30

場所：弁理士会館

講師：弁護士・弁理士 石神亘太郎先生 (青和特許法律事務所)

内容：

- ・特定侵害訴訟代理業務試験事例問題の解答ポイントについての解説
- ・平成29年度第1問、第2問解説

受講者数：

(集合研修) 17名

(通信研修) 8名

(2) 継続研修

〈第1回〉

日程：11月29日 (金)18：30～20：30

会場：弁理士会館

講師：角田 朗 先生

内容：J-PlatPatを用いた先行技術調査の演習

受講者数：20名

4. その他

〈研修委員会専用口座の開設〉

例年、委員会の先生の銀行口座を研修の振り込み口座として利用させていただいておりましたが、今後の利便性を考え、研修委員会専用の口座を開設しました。

以上

会報委員会報告

委員長 松 田 真

令和元年度会報委員会の活動につきまして、下記の通りご報告いたします。

1. 委員の構成

委員長 松田 真 (稲門)
委員 森田 義則 (稲門)
山崎 晃弘 (P A)
松宮 尋統 (P A)
井上 正 (春秋)
齋藤 学 (春秋)
齊藤 良平 (南甲)
大坂 尚輝 (南甲)
関 誠之 (無名)
亀山 夏樹 (無名)

2. 活動内容

会報「日弁」第43号の発行

発行部数：全2,843部

内訳 PA会：993部

春秋会：860部

南甲弁理士クラブ：440部

無名会：350部

稲門弁理士クラブ：200部

発送 令和元年12月4日に印刷手配を依頼し、順次各会派に発送

3. 会合

平成31年2月26日に開催し、編集工程の説明を行った。

以後はメールベースで、執筆依頼の分担の割り振り、進捗の共有等を随時行った。

以上

広報委員会報告

委員長 榮 野 隼 一

令和元年の広報委員会の構成及び活動内容等について、次の通りご報告いたします。

1. 委員の構成

委員長 榮野 隼一（稲門）

委員 鈴木 大介（P A）

中村 祥二（春秋）

松田 次郎（南甲）

竹山 尚治（無名）

2. 会合及び審議内容

開催日時：平成31年2月26日

場所：弁理士会館地下1階A・B会議室

議事：

- (1) 幹事長挨拶、副幹事長挨拶、出席者紹介
- (2) 日弁広報委員会の業務の確認
- (3) 日弁メルマガの要否検討
- (4) ホームページのシステム変更検討

3. 広報委員会の活動報告

- (1) ホームページのリニューアル
 - ・ 閲覧性の向上と更新の容易化を目的としてホームページをリニューアル（WordPress化）した。
 - ・ 過去の記事は主に一括処理で移行した。
- (2) ホームページの更新・維持・管理
 - ・ 幹事長就任挨拶&写真のホームページへの掲載
 - ・ 日弁の活動報告、各種企画の紹介、写真掲載
 - ・ 日弁及び各会派で主催の研修会の案内
 - ・ 日弁会報の掲載
- (3) 日弁メルマガの廃止
 - ・ 発行回数が少なくかつ費用対効果が低いため、幹事会に廃止を提案し了承された

以上

令和元年度会合行事記録

令和元年度副幹事長 中尾直樹

月	総会・相談役会・行事	幹事会	委員会	その他
1月		1/16 第1回		
2月	2/ 2 テニス大会	2/18 第2回	2/12 第1回協議 2/13 第1回政策 2/26 委員会合同立上げ (研修、広報、会報、規約)	
3月	3/26 第1回相談役会 3/28 第1回定時総会	3/11 第3回	3/15 第2回政策・規約 合同 3/26 第2回研修	3/ 8 東海協議会 役員慰労激励会 3/ 8 西日本弁理士ク ラブ 役員慰労激励会
4月		4/ 8 第4回	4/17 第2回協議 4/22 第3回政策・規約 合同	
5月		5/13 第5回	5/27 第3回協議 5/28 第4回政策・規約 合同	
6月	6/15-16 旅行会 6/16 ゴルフ大会	6/10 第6回 6/15 第7回 (拡大)	6/24 第4回協議	
7月		7/ 8 第8回	7/11 第5回政策・規約 合同	7/13-14 西日本弁理士 クラブ旅行会 7/19 リレーマラソン 大会打合せ
8月	8/30 第1回常任相談役会	8/22 第9回	8/ 8 第3回研修 8/19 第5回協議	
9月	9/13 第2回常任相談役会	9/12 第10回 (拡大)	9/ 6 第6回協議 (拡大) 9/11 第1回選対 9/20 第2回選対	9/ 7-8 弁理士連合ク ラブ旅行会 9/13 研修
10月		10/ 7 第11回	10/4 第4回研修	
11月	11/15 第2回相談役会 11/17 リレーマラソン大会 11/28 第2回定時総会 11/28 役員選挙当選祝賀会	11/11 第12回		11/29 研修
12月	12/ 5 ボーリング大会	12/ 9 第13回 12/23 幹事会引継ぎ	12/10 第5回研修	

令和元年度総会承認事項

令和元年度副幹事長 中 尾 直 樹

第1回定時総会

日時：平成31年3月28日（木）

午後6時30分～7時15分

会場：弁理士会館3階 会議室AB

(1) 平成30年度日弁事業報告の承認を求める件

綾木健一郎副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(2) 平成30年度日弁決算報告の承認を求める件

林剛史副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(3) 令和元年度日弁事業計画の承認を求める件

福田伸一幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(4) 令和元年度日弁予算の承認を求める件

福田伸一幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(5) 令和元年度日弁予算の予備費の取り崩しに関し幹事会への一任についての承認を求める件

林剛史副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(6) 令和2年度日本弁理士会（関東支部を含む）役員推薦に関し幹事会への一任についての承認を求める件

福田伸一幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

第2回定時総会

日時：令和1年11月28日（水）

午後5時40分～6時15分

会場：東海大学校友会館 相模の間

(1) 令和2年度日本弁理士クラブ幹事長選任の承認を求める件

羽鳥亘会員を選任することについて、賛成多数により承認された。

(2) 令和2年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の承認を求める件

中村仁会員を選任することについて、賛成多数により承認された。

(3) 令和2年度日本弁理士クラブ副幹事長・幹事・会計監事選任に関し幹事会への一任の承認を求める件

福田伸一幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(4) 日本弁理士クラブ規約改定の件

米山尚志副幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

以上

令和元年度 最終会計報告

令和元年度会計担当副幹事長 林 剛 史

2020年度第1回日弁総会において令和元年度会計報告が承認されましたので、以下に御報告申し上げます。

下記表のとおり、次年度（令和2年度）への繰越金（3,649,127）は、前年度からの繰越金（3,766,469）に比べ、117,342円の減少となりました。

前年度からの繰越金は、ここ数年減少傾向にあります。円滑な予算執行に留意しつつ、引き続き活動資金の確保と有効活用に努めていくことが重要と考えます。関係各位の御理解に深謝するとともに、今後ともご協力を心よりお願い申し上げます。

（単位：円）

収入の部	実績額	予算額
前年度会計からの繰越金	3,766,469	3,766,469
各クラブ分担金	2,500,000	2,500,000
利息	15	-
協議・選対委員会より入金	703,590	-
2019年活動準備費（前年より）	0	0
その他	0	-
合計	6,970,074	6,266,469

支出の部	実績額	予算額
例会・総会	47,338	50,000
幹事会	220,519	400,000
会報委員会	601,239	1,200,000
協議・選対委員会	1,000,000	1,000,000
政策委員会	48,110	200,000
広報委員会	39,452	100,000
研修委員会	-66,495	200,000
日弁五派交流事業費	0	0
相談役会	16,082	30,000
旅行会	745,761	850,000
旅行会ゴルフ大会補助	50,000	50,000
ボウリング大会補助	50,000	50,000
テニス大会補助	50,000	50,000
リレーマラソン補助	49,829	50,000
庶務	4,792	30,000
慶弔費	103,015	150,000
渉外・交通	190,000	500,000
幹事長渉外費	154,025	200,000
P G/W G 活動費	0	0
規約委員会	17,280	50,000
次年度活動準備費	0	100,000
予備費	3,649,127	1,006,469
合計	6,970,074	6,266,469

令和元年度リレーマラソン大会報告

リレーマラソン大会担当副幹事長 綾木 健一郎

2019年11月17日に、東京都江戸川区の葛西臨海公園の汐風の広場にて、第4回日弁リレーマラソン大会が開催され、32名の方が参加されました。

日弁リレーマラソン大会も本年度で4年目となりますが、毎回違う大会に参加しているため、若干の形式の違いがあります。今回参加したのは、「葛西臨海公園ファミリーラン2019」の20kmリレーの部であり、1周あたり約2.5kmのコースを8周するハーフマラソンです。

この度、日弁から参加したのは、無名会のラビットチームとかめさんずチーム、南甲弁理士クラブの南甲レッズチーム（田村和彦、松田心平、楠和也、早坂光紀、田尻博照：以下同様に敬称略）と南甲ブルーズチーム（林裕己、大塚啓生、佐々木香織、河野生吾、佐藤雄哉、大坂尚樹）、PA会のPA会チーム（鈴木大介、光末竜太、秋友徹、大西基貴、岩見晶啓）、稲門弁理士クラブの稲門弁理士集団チーム（大貫敏史、榎本英俊、菅原峻一、筆宝幹夫、市川ルミ先生の長女、綾木健一郎）の合計6チームです。菅原峻一先生と市川ルミ先生はご家族で参加いただき、杉村純子先生も応援に参加されました。

この日は天候がよく、程よい暖かさでありよいランニング日和であり、各派4～6人のランナーがそれぞれ1周または2周を走りました。2.5kmというと早い方は10分を切るのですが、自分は遅いので16分くらい掛かってしまいました。

大会後は、福田幹事長にもご参加いただき、昼過ぎから居酒屋にて懇親会を行わせていただきました。

大会が無事に終わられたのも、各派マラソン幹事の先生方のご協力と、ランナーの皆様のご協力のおかげです。大変にありがとうございました。リレーマラソンは、健康増進が図れ、かつトレーニングウェアとシューズさえあれば参加できる敷居の低いイベントです。今回未参加の方も、是非とも参加をご検討いただけますと幸いです。



令和元年度 日弁ボウリング大会

日弁副幹事長 太田 昌孝

第42回となる令和元年度日弁ボウリング大会は、令和1年12月5日に高田馬場グランドボウルにて開催されました。福田伸一幹事長の始球式からゲームスタートです。



日弁ボウリング大会では、参加者は3ゲームをプレイします。会派別の団体戦と個人戦があり、団体戦では上位6名の合計スコアを競い、個人戦では各自の合計スコアを競います。16のレーンには46名の参加者がランダムに割り振られています。そのため、初対面の人とプレイをすることもあります。ストライクやスペアが出た際には、ハイタッチで喜びを分かち合うことで、楽しくプレイすることができます。

ゲームの後は、恒例の懇親会です。令和元年度の会場は、昨年度と同じ「土風炉」でした。懇親会の途中に成績発表が行われます。団体戦では、4年連続で春秋会が優勝しました。1ゲームの平均スコアが160ピン超のハイスコアでした。個人戦では、P A会の三上結会員が581ピンで優勝。昨年の優勝スコア565ピンをさらに上回り、年々レベルが上がっていることがわかります。2位はP A会の安永喜勝会員、3位は春秋会の樋口和博会員でした。レディース戦は、P A会の田中有希会員が優勝しました。

日弁ボウリング大会は参加者の年齢層も広く、女性や企業弁理士の参加も多い行事です。そういった意味では、日頃は会派の活動に参加されていない方でも参加しやすい行事といえるでしょう。本年度、コロナ禍ではありますが開催の方向で検討しています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

■団体戦（上位6名の合計）

- 優勝 春秋会
- 2位 P A会
- 3位 無名会
- 4位 南甲弁理士クラブ
- 5位 稲門弁理士クラブ

■個人戦

(1) 順位賞

- 優勝 三上 結 P A 581
- 2位 安永喜勝 P A 546
- 3位 樋口和博 春秋 524
- 4位 大塚啓生 南甲 507

5位	斎藤 康	無名	504
6位	香坂 薫	無名	495
7位	長濱範明	春秋	492
8位	磯田志郎	春秋	484
9位	中尾俊輔	春秋	478
10位	藤本奈月	春秋	470
15位	田中有希	P A	430
20位	村上晃一	無名	408
25位	武居芳樹	無名	382
30位	本間博行	無名	365
35位	前野房枝	春秋	351
40位	亀崎伸宏	無名	329
42位	福田伸一	P A	317
45位	吉澤大輔	稲門	275
B B	吉澤大輔	稲門	275

(2) レディース部門

優勝	田中有希	P A	430
----	------	-----	-----

(3) ハイゲーム賞

1位	三上 結	P A	215
2位	安永喜勝	P A	212
3位	樋口和博	春秋	192

(4) 大波小波賞

大波賞	亀崎伸宏	無名	84
小波賞	前野房枝	春秋	0

(敬称略)

以上

